

入院・退院時の課題について

現状・課題	ご議論いただきたい視点
<p>○医療機関へのヒアリングでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の入退院の機会と関係なく、多摩緩和カンファレンス多摩市病院相談員連絡会、地域医療連携看護師会など専門職同士で定期的集まる様々な会合が積極的に行われ、医療関係者同士での顔の見える関係は築けているとの意見が多かった。 ・日頃から退院時を含めて連携している医師・医療機関からの入院要請は受け入れることとしているところが多かった。 <p>○また、同様の医療機関へのヒアリングにおいて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期の医療機関では、入院とほぼ同時に退院の調整を開始する傾向にある。一方、ケアマネージャーと連携して在宅の環境を整えるには時間がかかる場合や福祉的課題を抱える患者の支援に課題が伺えた。 ・転院の受け入れに当たっては、本人のみならず家族が、どのような医療サービスを受けることができるか納得することが重要であるとの意見が多かった。 <p>○診療所アンケート結果によれば、医師の退院時カンファレンスへの参加は、2割弱となっており少ない現状があるが、必ずしも多忙な医師に毎回参加してもらう必要はなく、電話やメールなど代替手段をうまく工夫しているケースもある。</p>	<p><入院時の連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内や日頃から連携している医師・医療機関との関係では、概ね連携がとれていることが確認できるが、そのことは、市民に伝わっているか。また、市民から見たときに、さらに進んだ仕組みが考えられるか。 <p><転院・退院時の連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・転院・退院支援における連携（ケアマネージャーとの連携や福祉的課題を抱える患者の支援）に関して、医療機関側・ケアマネージャー側、また、行政で改善できることがあるか。 ・退院時カンファレンスは、関係者全てを集めることにこだわらず、代替手段を工夫しながら着実に情報を共有することが重要ではないか。 ・入院時の連携と同様、市民に対して、医療機関の連携を伝えることができているか。